

## サイバープレゼンテーション 成績評価基準

評価項目・評価基準	重要度	Cレベル（改善が必要）	Bレベル（もう少し努力）	Aレベル（目標達成）	Sレベル（すばらしい）
プレゼンテーションソフトウェアの基本操作	5%	ソフトウェアの基本操作を把握していない	ソフトウェアの基本操作はほぼ把握しているが、プレゼンテーションへの応用が困難	プレゼンテーションに必要な操作はほぼ把握し、使用できる	プレゼンテーションに必要な操作はほぼ把握し、使用できる。また、問題が起きた時に自分で対応できる
プレゼンテーション形式による「説得のコミュニケーション」の理解	30%	プレゼンテーションの対象を理解できていないため、説得のコミュニケーションが成立しない	プレゼンテーションの対象を理解できているが、十分にプレゼンテーションに反映できない	プレゼンテーションの対象を理解でき、プレゼンテーションに反映できる	プレゼンテーションの対象をよく理解した上で、説得のポイントを効果的に表現できる
プレゼンテーション制作を通しての企画立案および実施能力	15%	情報収集、組み立てなどの情報デザインができない	ある程度の情報収集はできるが、組織化など効果的な情報デザインができない	情報収集、組み立てなどの情報デザインが一通りできる	情報収集、組み立てなどの情報デザインが効果的なプレゼンテーションに応用できる
情報デリバリーフィジカル要素（正確な姿勢、アイコンタクト、ジェスチャーなど）の能力	15%	発表において、情報デリバリーフィジカル要素が全く取り入れられない	発表において、情報デリバリーフィジカル要素がほとんど取り入れられない	発表において、情報デリバリーフィジカル要素がある程度取り入れられる	発表において、情報デリバリーフィジカル要素が過不足なく取り入れられる
情報デリバリービジュアル要素の能力（スライド完成度）	15%	発表に用いるスライドが見にくく、効果的な表現が全くできない	発表に用いるスライドで、説得のために効果的な表現があまりできない	発表に用いるスライドは見やすく、ある程度の視覚効果も加えることができる	発表に用いるスライドは見やすく、適度な視覚効果も加えることができ、説得に効果的な表現が工夫して盛り込むことができる
個別指導段階における積極性とディスカッション能力	20%	積極的に指導を受ける姿勢が見受けられず、ディスカッションもできない	ある程度のディスカッションはできるが、指導を受けるための積極性があまりない	十分な積極性が見られ、指導内容を十分に理解した上で実践している	十分な積極性が見られ、指導内容に対して自分の意見も述べながら効果的なディスカッションができる